

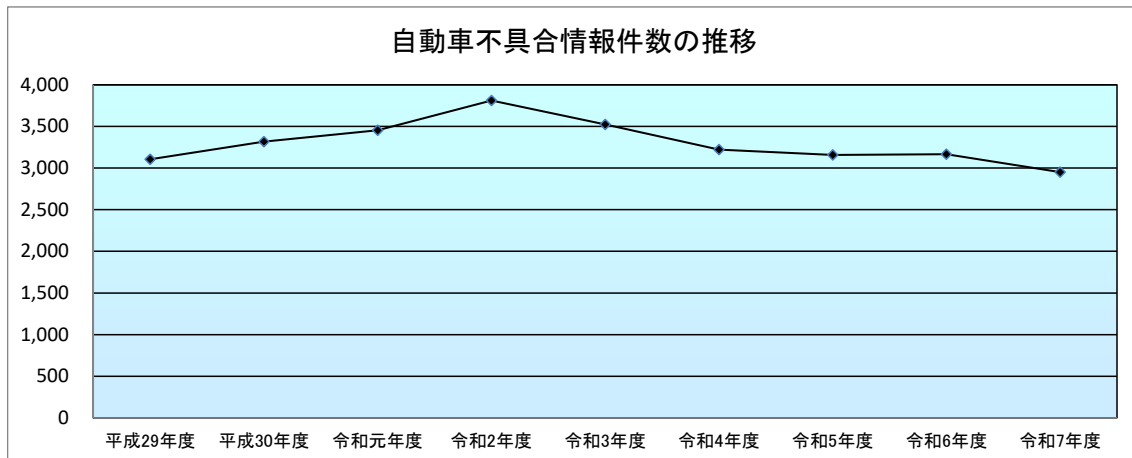
令和7年度の自動車不具合情報の統計結果について

国土交通省の自動車不具合情報ホットライン (<https://renrakuda.mlit.go.jp/renrakuda/hotline.html>) に自動車ユーザー等から寄せられた自動車の不具合情報について、令和7年度の統計結果をとりまとめたので公表いたします。

なお、本自動車不具合情報は、設計又は製造に起因するものに限られておらず、整備不良やユーザーの誤使用等に起因する可能性があるものも含まれています。また、本統計はあくまでもユーザーの申告による不具合情報を元にしており、国土交通省として不具合情報の内容について事実関係を保証しているものではありません。

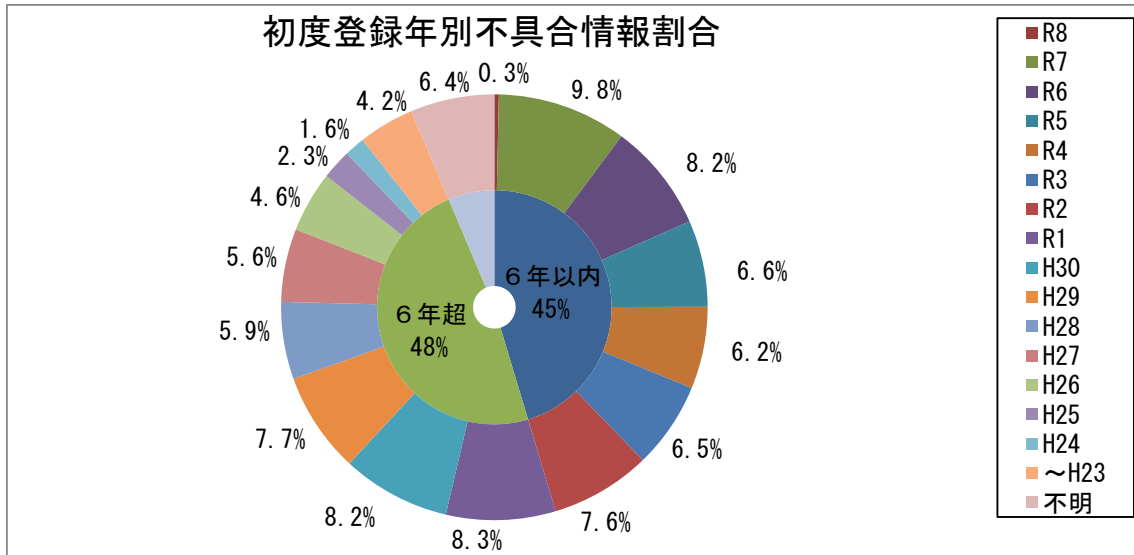
1. 令和7年度に国土交通省の自動車不具合情報ホットラインに寄せられた情報の件数は4,816件であり、そのうち有効な自動車不具合情報件数は2,952件であった。

件数の推移をみると平成29年度以降令和2年度までは緩やかな増加傾向であったが、令和3年度以降は減少に転じている。

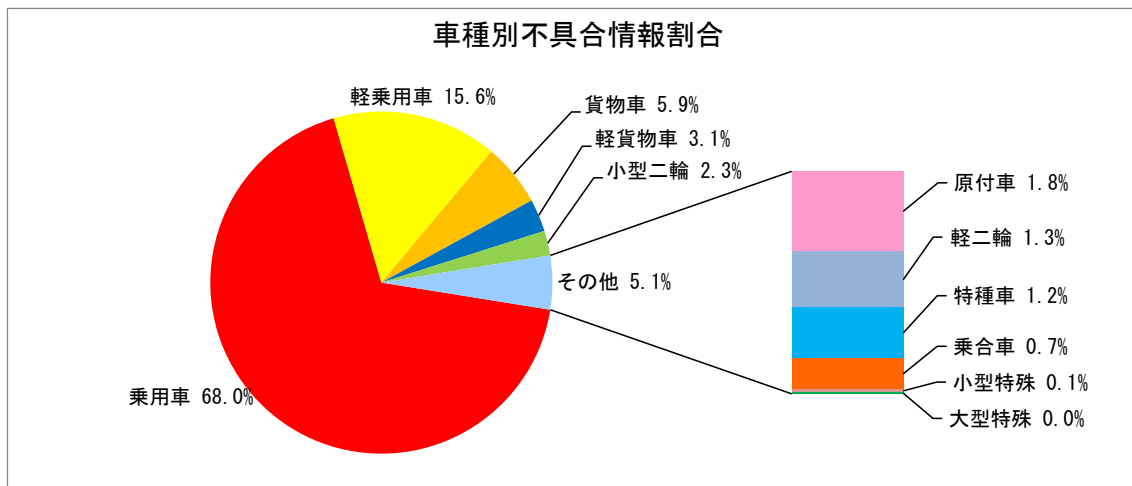


年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
件数	3,105	3,317	3,452	3,811	3,522	3,221	3,157	3,166	2,952

2. 初度登録年別（軽自動車にあっては初度検査年。以下同じ。）の不具合情報件数は、初度登録年が令和7年の自動車が290件(9.8%)と最も多く、次いで令和1年の自動車が245件(8.3%)となっている。初度登録後6年以内の自動車に関わる不具合情報件数と6年超経過した自動車（不明を除く。）に関わる不具合情報件数を比較すると、大きな差はなく、6年超の件数が若干多くなっている。

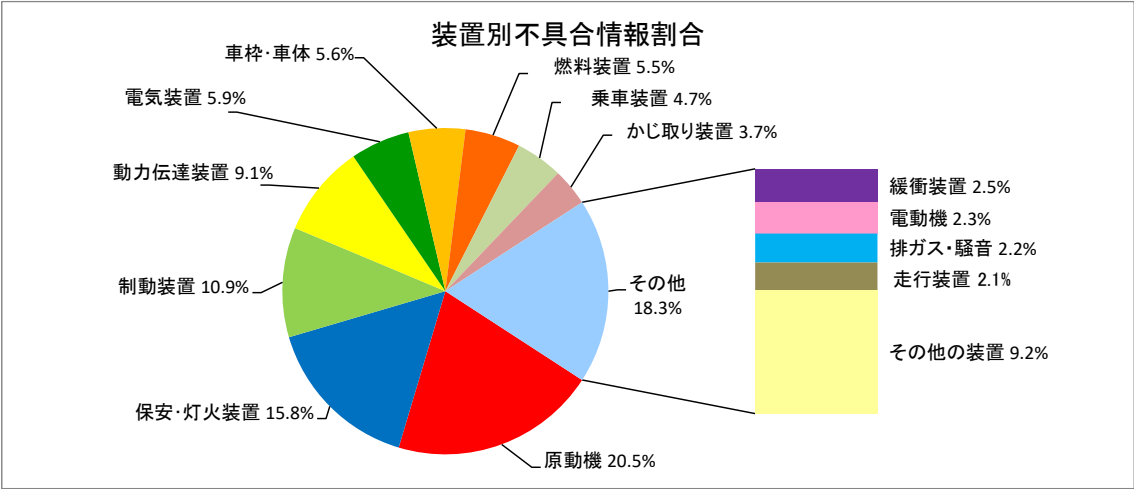


3. 車種（用途）別の不具合情報件数は、「乗用車」が2,006件(68.0%)と最も多く、次いで「軽乗用車」が461件(15.6%)、貨物車が175件(5.9%)の順となっている。



4. 装置別の不具合情報件数は、「原動機」が604件で全体の20.5%と最も多く、次いで「保安・灯火装置」が467件(15.8%)、3番目に「制動装置」が321件(10.9%)の順となっている。

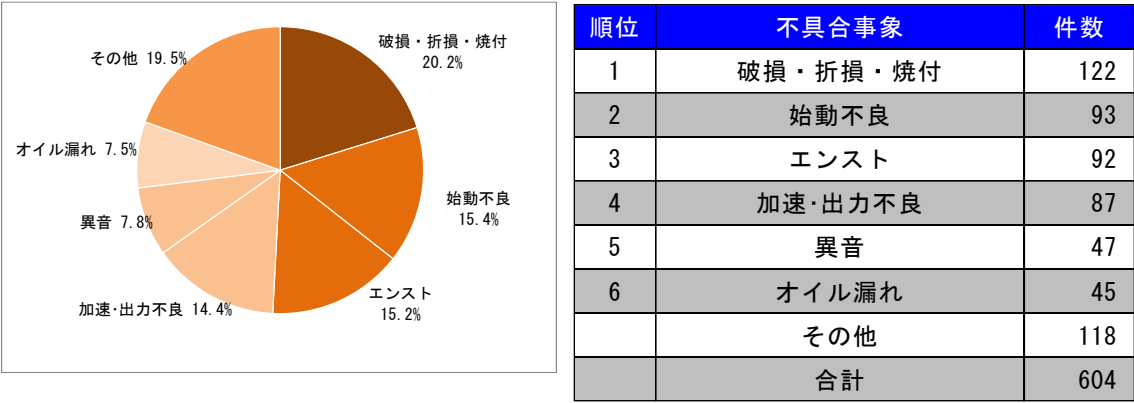
これら不具合情報件数の多い装置分類の上位3種について不具合事象をみると、件数上位に、原動機では「破損・折損・焼付」「始動不良」、保安・灯火装置では「窓ガラス不良」「後写鏡不良」「ヘッドライト不良」、制動装置では「制動力不足」「作動不良」といった走行安全性に関わる重大な事象が占めており、件数の中位には「異音・鳴き」といった快適性・商品性に関わる事象が挙げられている傾向がみられる。



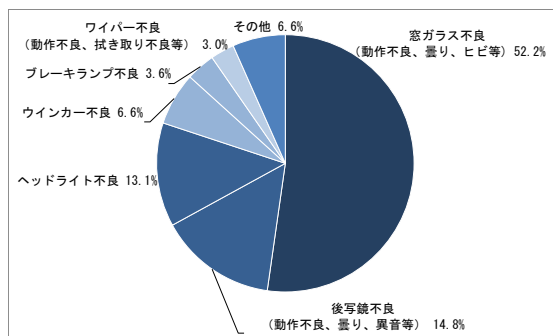
装置別	原動機	保安・灯火装置	制動装置	動力伝達装置	電気装置	車枠・車体	燃料装置	乗車装置	かじ取り装置	緩衝装置	電動機	排ガス・騒音	走行装置	その他の装置	合計
件数	604	467	321	270	174	166	162	138	109	74	69	64	62	272	2,952

不具合の多い装置分類 上位3種

1. 原動機

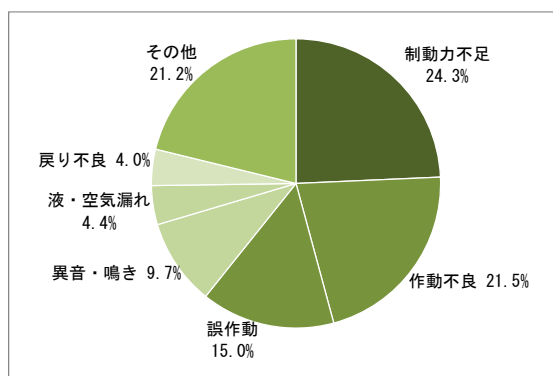


2. 保安・灯火装置



順位	不具合事象	件数
1	窓ガラス不良 (動作不良、曇り、ヒビ等)	244
2	後写鏡不良 (動作不良、曇り、異音等)	69
3	ヘッドライト不良	61
4	ウinker不良	31
5	ブレーキランプ不良	17
6	ワイパー不良 (動作不良、拭き取り不良等)	14
	その他	31
	合計	467

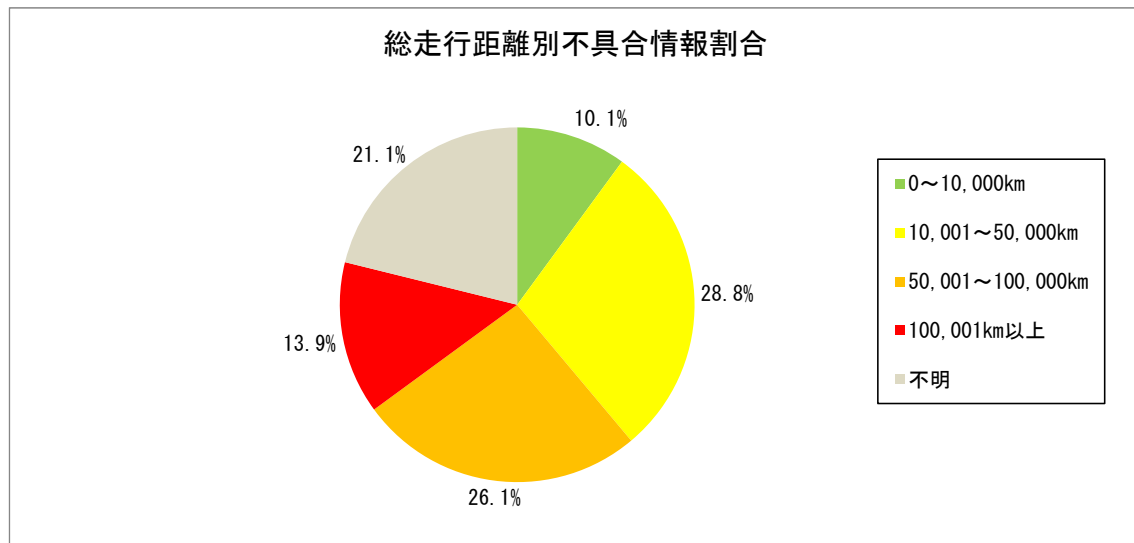
3. 制動装置



順位	不具合事象	件数
1	制動力不足	78
2	作動不良	69
3	誤作動	48
4	異音・鳴き	31
5	液・空気漏れ	14
6	戻り不良	13
	その他	68
	合計	321

5. 総走行距離別の不具合情報件数は、「1万km超5万km以下」が851件(28.8%)と最も多く、次いで「5万km超10万km以下」が769件(26.1%)、「10万km超」が411件(13.9%)、「1万km以下」が297件(10.1%)の順となっている。

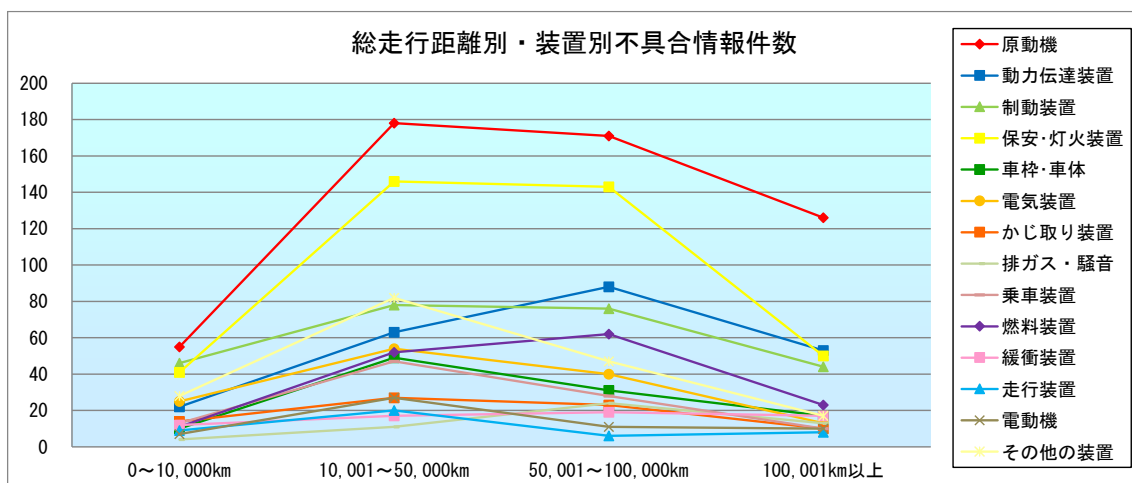
5万km以下と5万km超の不具合情報件数とを比較すると、後者の不具合情報が多く寄せられている。

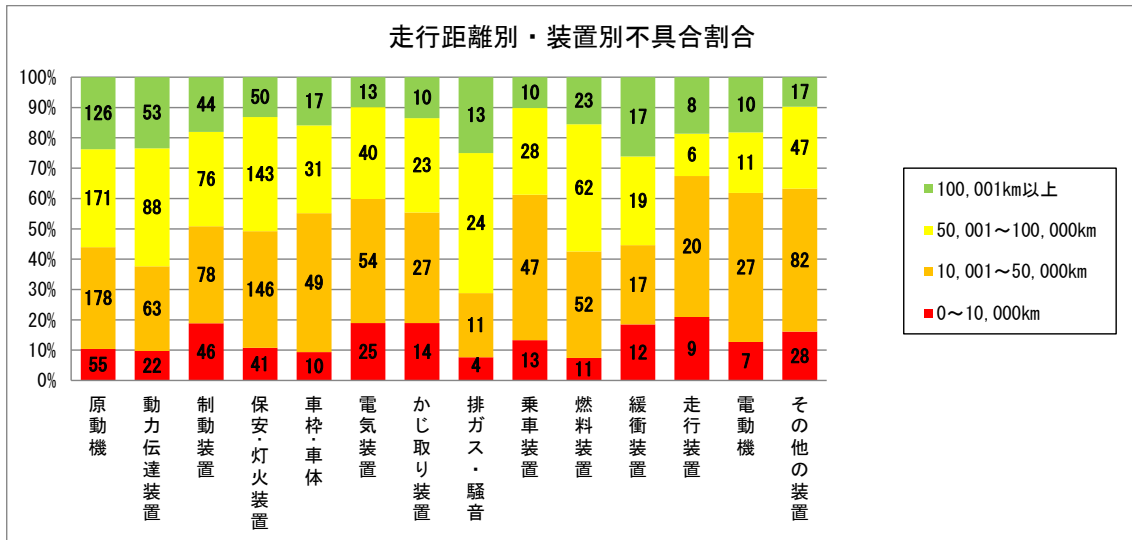


総走行距離別	0～10,000km	10,001～50,000km	50,001～100,000km	100,001km以上	不明	合計
件数	297	851	769	411	624	2,952

6. 総走行距離別・装置別の不具合情報件数をみると、装置別不具合件数上位3種について、「原動機」、「保安・灯火装置」および「制動装置」は1万km超5万km以下の不具合情報件数が最も多く、「動力伝達装置」は5万km超10万km以下の不具合情報件数が最も多くなっている。

また、不具合情報割合をみると、「走行装置」「電動機」は5万km以下の比較的総走行距離が少ない早期に不具合情報が挙げられる傾向がある。

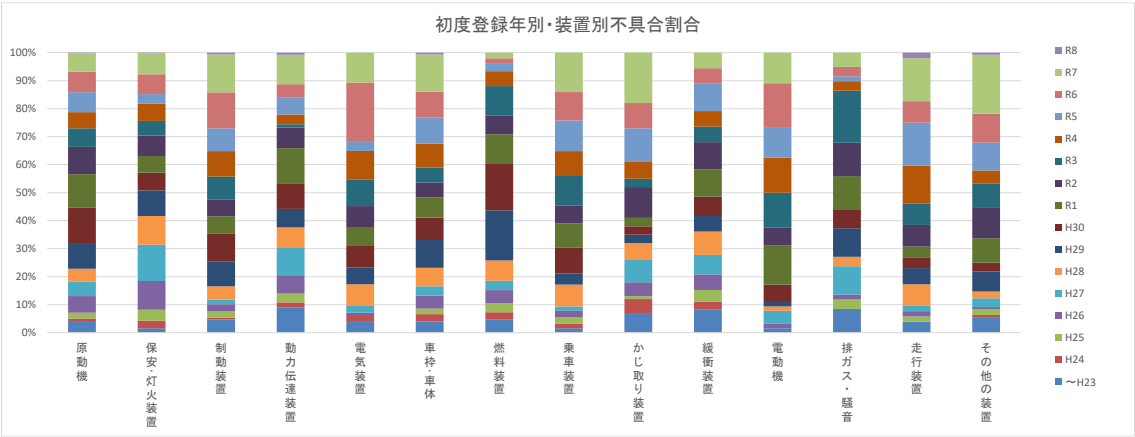
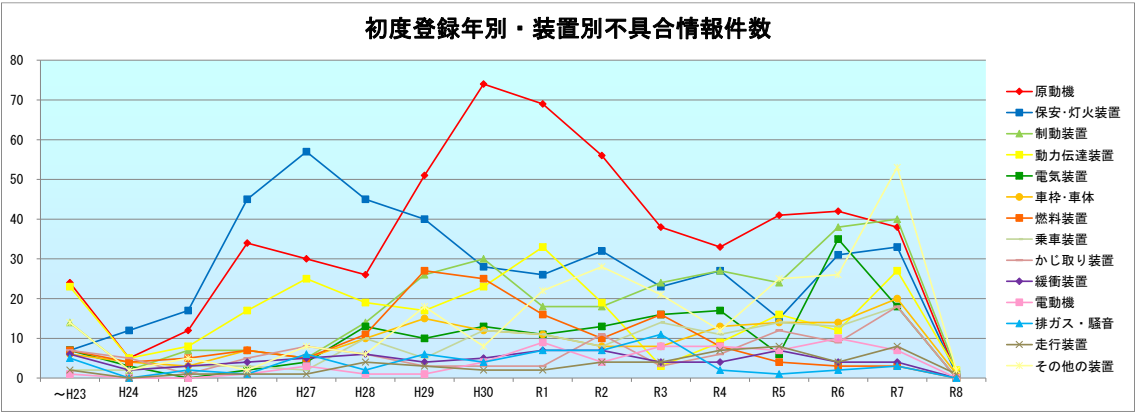




(件)

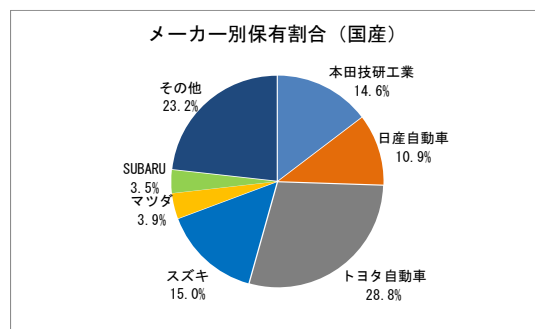
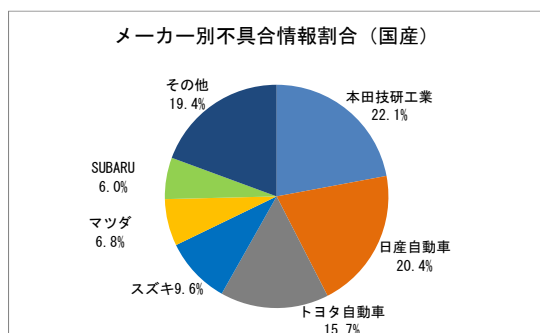
総走行距離別 装置別	0~10,000km	10,001~50,000km	50,001~100,000km	100,001km以上	不明	合計
原動機	55	178	171	126	74	604
動力伝達装置	22	63	88	53	44	270
制動装置	46	78	76	44	77	321
保安・灯火装置	41	146	143	50	87	467
車枠・車体	10	49	31	17	59	166
電気装置	25	54	40	13	42	174
かじ取り装置	14	27	23	10	35	109
排ガス・騒音	4	11	24	13	12	64
乗車装置	13	47	28	10	40	138
燃料装置	11	52	62	23	14	162
緩衝装置	12	17	19	17	9	74
走行装置	9	20	6	8	19	62
電動機	7	27	11	10	14	69
その他の装置	28	82	47	17	98	272
合計	297	851	769	411	624	2,952

7. 初度登録年別・装置別の不具合情報件数をみると、全体として初度登録R6年及びR7年の件数が多く、登録後2年程度の車両での不具合情報が多くなっている。



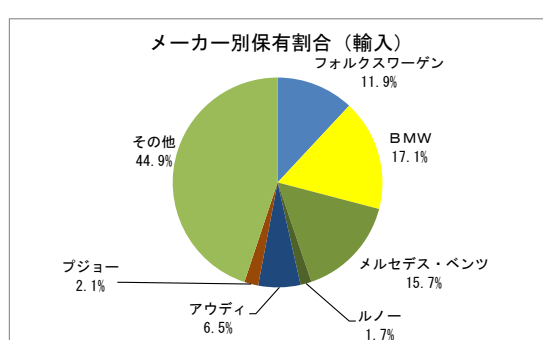
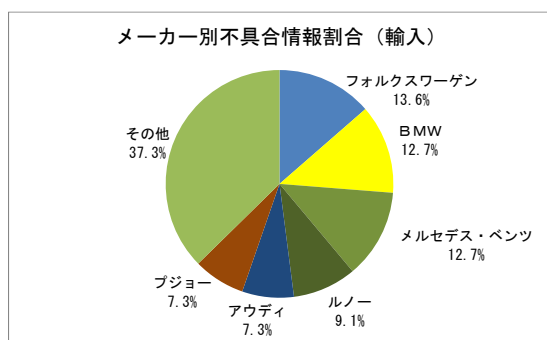
初度登録年別 装置別		(件)																	
		～H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	不明	総計
原動機	24	5	12	34	30	26	51	74	69	56	38	33	41	42	38	1	30	604	
保安・灯火装置	7	12	17	45	57	45	40	28	26	32	23	27	15	31	33	1	28	467	
制動装置	14	2	7	7	5	14	26	30	18	18	24	27	24	38	40	2	25	321	
動力伝達装置	23	5	8	17	25	19	17	23	33	19	3	9	16	12	27	2	12	270	
電気装置	7	3	0	2	4	13	10	13	11	13	16	17	6	35	18	0	6	174	
車枠・車体	6	4	3	7	5	10	15	12	11	8	8	13	14	14	20	1	15	166	
燃料装置	7	4	5	7	5	11	27	25	16	10	16	8	4	3	3	0	11	162	
乗車装置	2	2	3	3	2	10	5	12	11	8	14	11	14	13	18	0	10	138	
かじ取り装置	7	5	1	5	8	6	3	3	3	11	3	6	12	9	18	0	9	109	
緩衝装置	6	2	3	4	5	6	4	5	7	7	4	4	7	4	4	0	2	74	
電動機	1	0	0	1	3	1	1	4	9	4	8	8	7	10	7	0	5	69	
排ガス・騒音	5	0	2	1	6	2	6	4	7	7	11	2	1	2	3	0	5	64	
走行装置	2	0	1	1	1	4	3	2	2	4	4	7	8	4	8	1	10	62	
その他の装置	14	2	5	2	8	6	18	8	22	28	21	12	25	26	53	2	20	272	
合計	125	46	67	136	164	173	226	243	245	225	193	184	194	243	290	10	188	2,952	

8. メーカー別の不具合情報件数をみると、国産車メーカーでは本田技研工業が510件(22.1%)と最も多く、次いで日産自動車が472件(20.4%)、トヨタ自動車が363件(15.7%)の順となっている。また、輸入車メーカーではフォルクスワーゲンが87件(13.6%)と最も多く、次いで同件数でBMWとメルセデス・ベンツが81件(12.7%)の順となっている。



順位	メーカー名	件数
1	本田技研工業	510
2	日産自動車	472
3	トヨタ自動車	363
4	スズキ	223
5	マツダ	157
6	SUBARU	139
	その他	448
	合計	2,312

順位	メーカー名	台数（千）
3	本田技研工業	11,103
4	日産自動車	8,242
1	トヨタ自動車	21,854
2	スズキ	11,339
5	マツダ	2,966
6	SUBARU	2,685
	その他	17,618
	合計	75,807



順位	メーカー名	件数
1	フォルクスワーゲン	87
2	BMW	81
3	メルセデス・ベンツ	81
4	ルノー	58
5	アウディ	47
6	プジョー	47
	その他	239
	合計	640

順位	メーカー名	台数（千）
3	フォルクスワーゲン	584
1	BMW	838
2	メルセデス・ベンツ	768
6	ルノー	83
4	アウディ	318
5	プジョー	105
	その他	2,196
	合計	4,892

※ メーカー別保有割合の順位は、不具合件数上位6社において順位付けしたもの。全社での保有台数上位6社を示したものではない。

注：メーカー別保有台数は、令和7年3月末現在における(一財)自動車検査登録情報協会及び(一社)全国軽自動車協会連合会の集計数字（小型特殊自動車及び原動機付自転車を除く。）より算出した。

(付録) 令和7年度ユーザー不具合情報における衝突被害軽減ブレーキおよび
ペダル踏み間違い急発進抑制装置に関する統計結果について

令和 7 年度にユーザーから国土交通省に寄せられた自動車の不具合情報のうち、衝突被害軽減ブレーキ及びペダル踏み間違い急発進抑制装置に関する不具合情報と思われるものを統計的にとりまとめたので、その結果を報告いたします。

なお、この統計結果はユーザーの申告による不具合情報を元にしており、国土交通省として不具合情報の内容について事実関係を保証しているものではありません。

1. 衝突被害軽減ブレーキ

令和 7 年度に衝突被害軽減ブレーキに関する不具合情報は 47 件あった。

(1) 車種別件数

(件)

車種 \ 事象	不作動	不要作動	その他	合計
乗用車	12	26	0	38
軽乗用車	3	3	0	6
貨物車	0	3	0	3
軽貨物車	0	0	0	0
合計	15	32	0	47

(2) 被害別件数

(件)

被害 \ 事象	不作動	不要作動	その他	合計
物損事故	3	2	0	5
人身事故	1	1	0	2
事故なし又は不明	11	29	0	40
合計	15	32	0	47

(3) 物損事故

(件)

車種 \ 事象	不作為	不要作為	その他	合計
乗用車	1	1	0	2
軽乗用車	2	0	0	2
貨物車	0	1	0	1
軽貨物車	0	0	0	0
合計	3	2	0	5

(4) 人身事故

(件)

車種 \ 事象	不作為	不要作為	その他	合計
乗用車	1	1	0	2
軽乗用車	0	0	0	0
貨物車	0	0	0	0
軽貨物車	0	0	0	0
合計	1	1	0	2

2. ペダル踏み間違い急発進抑制装置

令和7年度にペダル踏み間違い急発進抑制装置に関する不具合情報は2件あった。

(1) 車種別件数

(件)

車種 \ 事象	不作為	不要作為	その他	合計
乗用車	1	1	0	2
軽乗用車	0	0	0	0
貨物車	0	0	0	0
軽貨物車	0	0	0	0
合計	1	1	0	2

(2) 被害別件数

(件)

被害 \ 事象	不作動	不要作動	その他	合計
物損事故	0	0	0	0
人身事故	0	0	0	0
事故なし又は不明	1	1	0	2
合計	1	1	0	2

(3) 物損事故

(件)

車種 \ 事象	不作動	不要作動	その他	合計
乗用車	0	0	0	0
軽乗用車	0	0	0	0
貨物車	0	0	0	0
軽貨物車	0	0	0	0
合計	0	0	0	0

(4) 人身事故

(件)

車種 \ 事象	不作動	不要作動	その他	合計
乗用車	0	0	0	0
軽乗用車	0	0	0	0
貨物車	0	0	0	0
乗合車	0	0	0	0
合計	0	0	0	0